

# 沖縄だより

<http://okinawa-branch.com/>

No. 94

2019年10月23日

【発行】平和フォーラム沖縄事務所

tel/fax:0980-43-0740

mail:peaceforum.okinawa@gmail.com

## 台風による被災者救済を政府は急いで行え！

東日本を襲った台風19号の大雨により死者80名、行方不明者11人（10月22日現在）との報道があります。平和フォーラムの仲間にも被災された方があったのではないかと心配しています。お見舞いを申し上げます。

ここ沖縄でテレビの映像を見ていると、15号台風では千葉県内の民家の屋根が飛ばされ、青いビニールシートがかけられている映像にびっくりです。沖縄の建物は台風との闘いで、家や塀が強風に耐えられるよう工夫され、現在のような頑丈な建物になったようです。また、千曲川など7県で59河川90か所の堤防が決壊し、家も畑も水没している状況も、沖縄では経験がないと思います。100年に一度の大雨と報じられていますが、地球の温暖化が大きく影響していると思います。そのため今回のような豪雨による災害は、今後も日本の何処かで発生すると思います。安倍政権は今すぐにでも、石炭を燃やす火力発電所、危険な原子力発電所を廃炉にし、温暖化防止の世界のリーダーとして政治を動かすべきで、温暖化をストップさせるためには、米国トランプ大統領と手を切ることから始めなければなりません。被災した人々を救済するためにも短時間で対応できる「省庁」を作るべきだと思います。専門的な立場から地震や台風などの災害に迅速に動く人的な配置をするなど、政府は決断しなければなりません。

### 被災者を守らない政府にうんざり！

災害から人々のいのちを守ることを第一に考えた対策が最も望まれます。今回の19号台風による被災者は65歳以上の高齢者に集中しています。ホームレスの避難を拒否した避難所もあったと報道され、なぜ拒否をしたのか怒りがこみ上げてきます。東京・多摩川の河川敷（世田谷区）の様子がテレビから流されていますが、この界限には多くのホームレスの人々が生活しています。これらの人びとはどうしたのか？安全な場所に避難できたのか心配しています。外国人の人びとの救援はどうであったのか？これもまた心配です。

自民党の二階幹事長が被災について、「まずまずに収まった」と配慮の全くない発言をしました。自公政権は災害から国民を守ろうとはしない。この政権には本当にうんざりです。一日も早く退陣してもらいたい。

### 諦めない辺野古の闘い

10月5日は、毎月第一土曜日1000人集会にあたり、キャンプ・シュワブ前に800人の県民らがかけつけました。沖縄県内41市町村の「島ぐるみ会議」に結集するみなさんがバスや自家用車で集まり、月に一度の熱気あふれる集会となります。合い言葉は「あきらめない」、「工事を止める」。闘いを続けていくことを確認し合う場にもなっています。島ぐるみ会議のエネルギーは大変なもので、その成果は知事選、県民投票、国政選挙での相次ぐ勝利で、その動きや活動は全国的にも力が示されています。また全世界にも広がっています。この仲間がいる限り工事は絶対に止めることができると確信しています。

### 明日の平和を諦めるわけがない！

STOP HENOKO連続5日大行動が10月21日から25日にかけて行われています。辺野古への土砂搬出の現場、塩川港と安和栈橋で抗議行動、GO GOドライブ100台を繰り出しての闘いが始まっています。目的は、栈橋内に土砂の運び込みを停滞させ、土砂搬入を完全に止めることにあり、この行動で辺野古埋立工事をストップさせることです。埋め立ての心臓部につきささる行動を想定しています。

このような闘いは、2018年4月23日～28日まで「ゲート前連続6日間500人結集」としてとりくまれた第二弾としての闘いになります。次号にその闘いの様子や成果について報告します。

仲間のみなさん、災害に負けずにガンバロウ！